

# 「アルプラス」「アリッツ」シャッター半外付枠 中柱連窓仕様 組立取付説明書

説明書番号  
MN-1667  
表 改-3

- 販売店様・加工店様へのお願い。  
本説明書をお読みになる前に同封の『アルプラス・アリッツ取扱い上のご注意とお願い』を必ず先にお読みください。
- 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
<b>お願い</b>	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 本製品の明細は以下の通りです。

上枠、下枠、屋根、右縦枠、左縦枠、ビスセット、仕上材（鋼板）、防水テープ、中柱固定金具、上部カバー、内部カバー

- その他の関係する製品梱包

中柱    ボックスカバー    シャッター本体    ガイドレール

- 施工時の**お願い**

住宅防火戸として使用（施工）する場合は、シャッターボックスの裏側に外壁の屋外側の防火被覆又は軒裏の防火被覆（シャッターボックスを軒裏に納める場合）と同等以上の防火性能を有する防火被覆を設けてください。

## ＜組立ビス・部品一覧＞

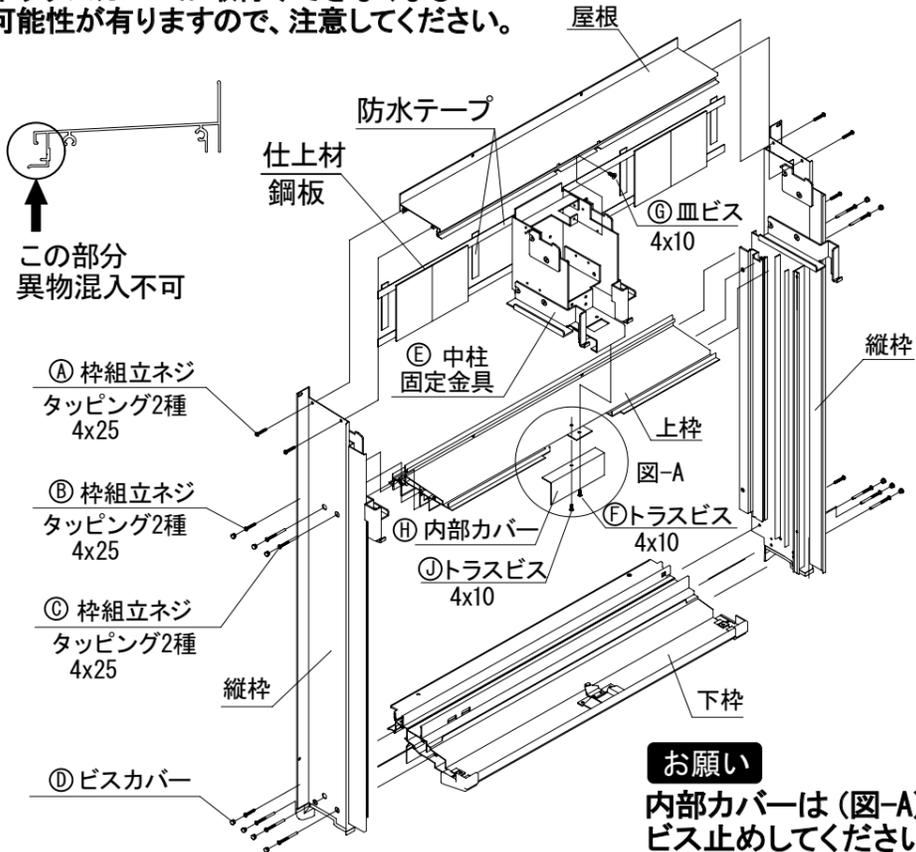
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(J)
ビス種類	タッピング2種 4x25	タッピング2種 4x25	タッピング2種 4x25	ビスカバー	中柱固定金具	トラスビス 4x10	皿ビス 4x10	内部カバー	トラスビス 4x10
用途	枠組立 (屋根組立用)	枠組立 (上下枠組立用)	枠組立 (ホロー部組立用)	縦枠部ビス孔塞ぎ		中柱固定金具 取付用	中柱固定金具 取付用		中柱カバー 取付用
備考	アルミ部材色対応	生地色	生地色	アルミ部材色対応	生地色	生地色	生地色	アルミ部材色対応	アルミ部材色対応

## 1 中柱連窓枠の組立て

同梱のビスセット内のビスで確実に組立ててください。

### お願い

下図○部にモルタルなどが詰まると、ボックスカバーが取付けできなくなる可能性が有りますので、注意してください。



**お願い**  
内部カバーは(図-A)の様にビス止めしてください。

### お願い

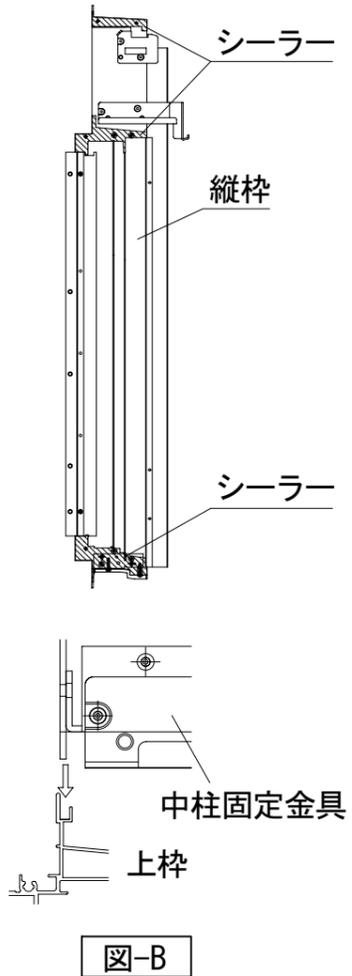
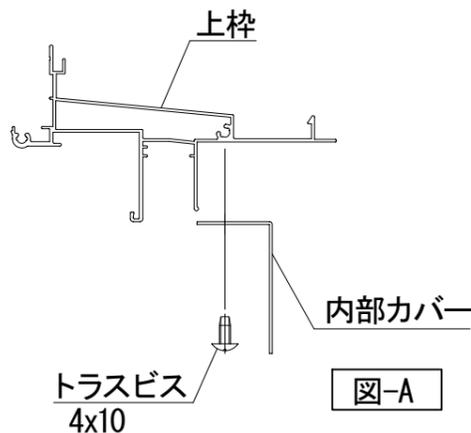
シーラーが屋根、上枠、下枠にしっかり当たっているか確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

### ポイント

- シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないことを確認してください。
- シーラーが屋根、上枠、下枠形状にそって、均一にはみだしている事を確認してください。

### お願い

中柱固定金具の下端は(図-B)の様に上枠の溝に差し込んでビス止めしてください。



## 2 仕上材取付

サッシ枠を木枠に取り付ける前に、必ず屋根と上枠との間に仕上材を取り付けてください。

防水テープを図のようにサッシ枠の室内側に仕上材とアルミ部材との境目および仕上材と仕上材とのつなぎ目を隠すように貼り付けてください。

※仕上材は複数枚（2～4枚）あります。重ねて取り付けるようにして下さい。スチールの小口で怪我しないよう、ご注意ください。

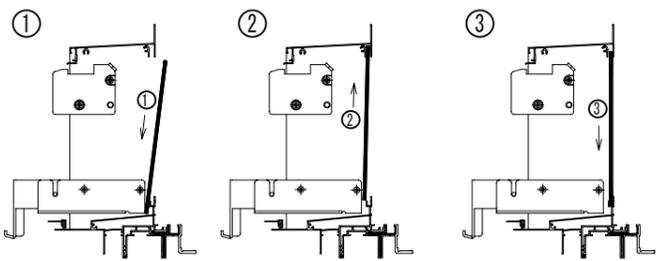
※防水テープ長さ目安 左右、つなぎ目用：210mm程度、上下用：サッシ枠W寸法+60mm程度

※防水テープ左右には必ず2本重ねて貼り付けてください。

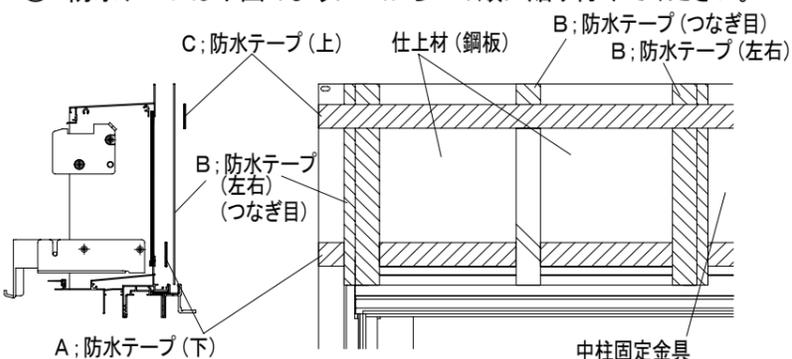
※仕上材はサッシ枠組立後にケンドンで入れる事も出来ます。必ず取り付けて防水テープを貼り付けてください。

### 仕上材取付順

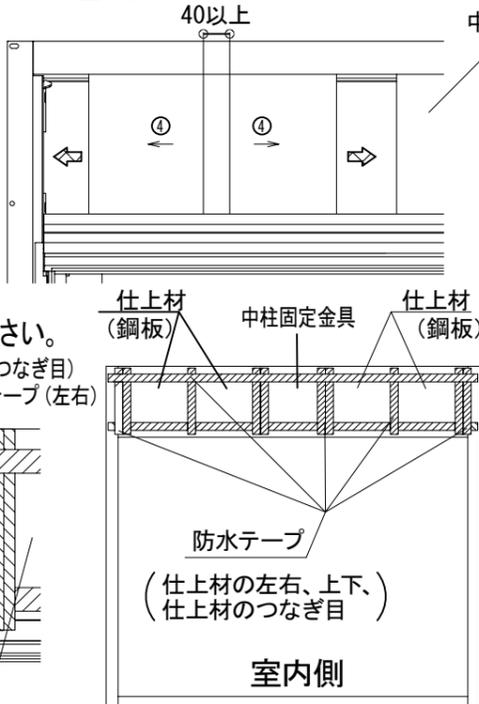
室内側から差し込んで下図の手順で取り付けてください。



⑤ 防水テープは下図のようにAからCの順に貼り付けてください。



④ 重ねた仕上材を左右に均等に広げて取り付けてください。仕上材重ねあひ時の寸法は40mm以上としてください。

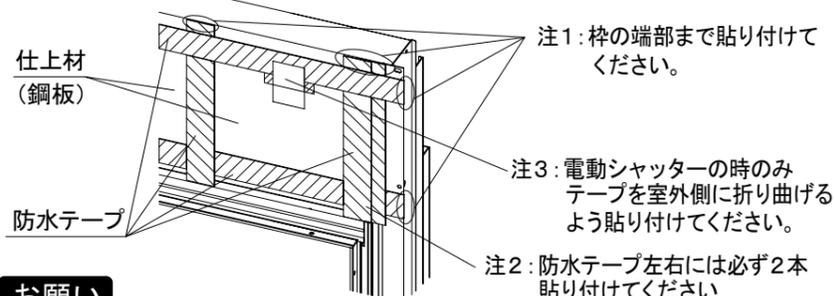
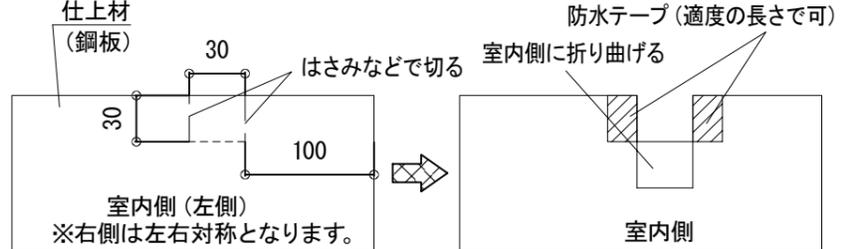


### お願い

電動シャッターの場合、接続コード配線用の孔加工を事前に行ってください。

接続コードの断線防止の為、切り加工部の小口部に防水テープを貼ってください。

※中柱連窓で本体を2体取り付けますので、2枚切り加工を行ってください。2枚目は左右対称となります。

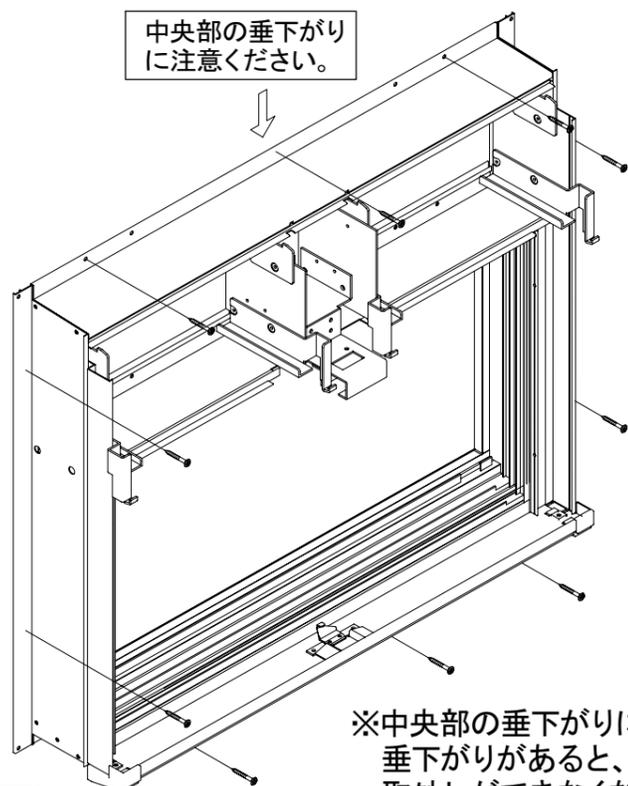


### お願い

漏水の原因になりますので、防水テープは確実に貼り付けてください。

### 3 枠の取付け

下図の様にビス止めしてください。



※中央部の垂下がりご注意ください。  
垂下がりがあると、中柱の取付け、  
取外しができなくなる場合があります。

**お願い**

中柱固定金具は必ず柱（躯体）にビス止めしてください。  
固定が不完全な場合は、シャッター本体が脱落するおそれがあります。

＜取付ビス・部品一覧＞※木ネジは余分に入っている場合があります。

	Ⓚ	Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	ⓐ	ⓑ
ビス種類	平皿木ネジ 3.8x32	平皿木ネジ 3.8x38	丸木ネジ 3.5x32	丸皿木ネジ 3.1x20	上部カバー	セルフドリリングビス 4x25
用途	枠フィン取付用	枠取付用	下枠取付用	額縁取付用	大：電動用 小：手動用	上部カバー 取付用
備考	生地色	プラ部材色対応	生地色	プラ部材色対応	アルミ部材色対応	アルミ部材色対応

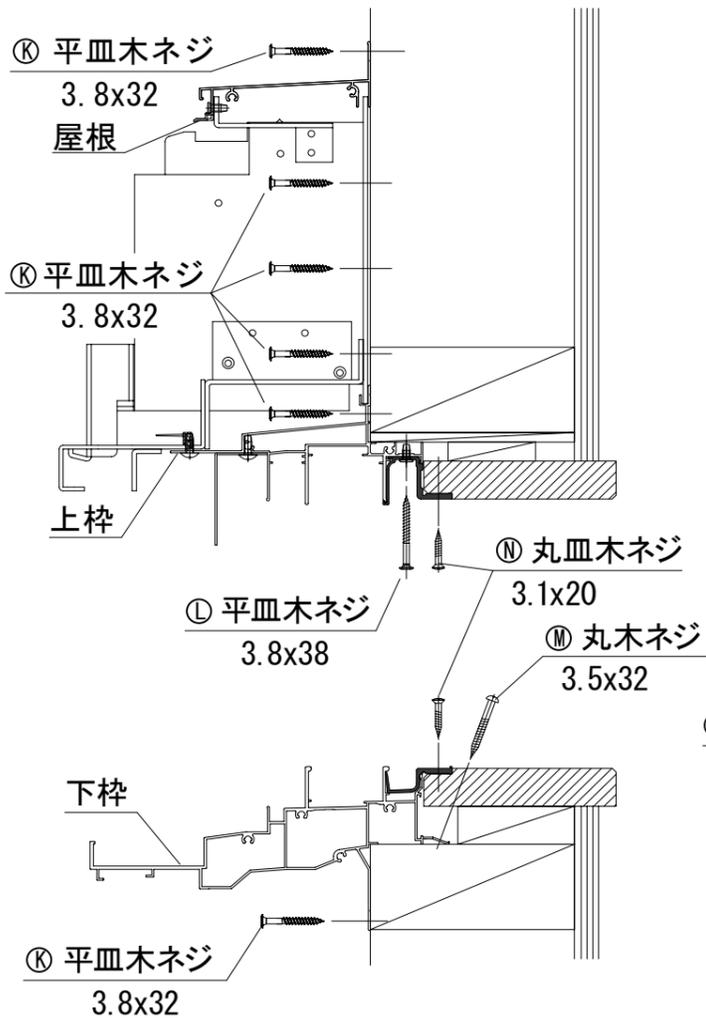
同梱のビスセット内の木ネジで確実に取付けてください。

**お願い**

●**枠取付け注意事項**

枠を仮止めし、下記の 1~5 を必ず確認して取付けてください。

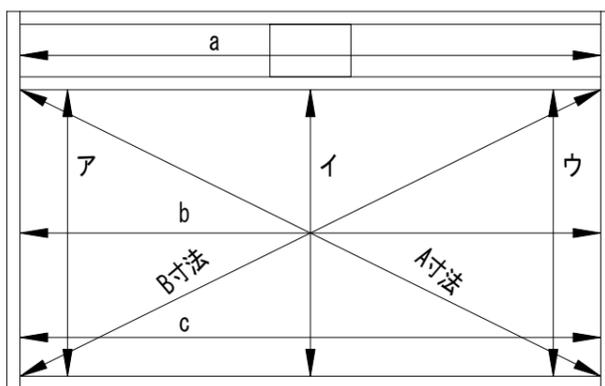
- 必ず対角寸法A、B差を3mm以内におさえてください。
- 下枠の取付けは、必ず水準器を当てて、水平にしてください。
- 枠の内法幅を測定し、a、b、cの差を±1.5mm以内にしてください。
- 枠の内法高さを測定し、ア、イ、ウの差を±1.5mm以内にしてください。
- シャッターボックスカバー及びガイドレールはメンテナンス時に取外す場合がありますので、取外し可能な施工を行ってください。



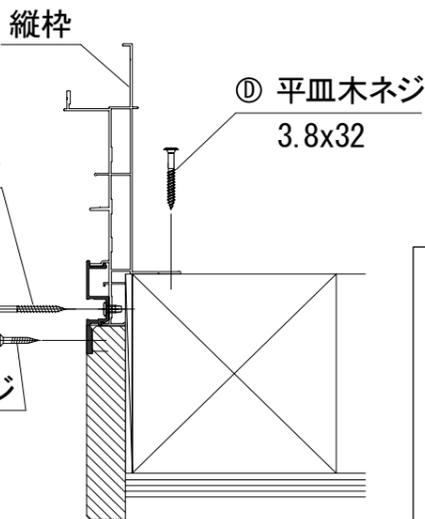
●**下枠取付用 (⑥ 丸木ネジ) 説明ラベル**

**施工時重要**

●枠垂れ下がり防止の為、障子を建込む前に必ず室内側を指定の枠取付木ねじで確実に固定してください。

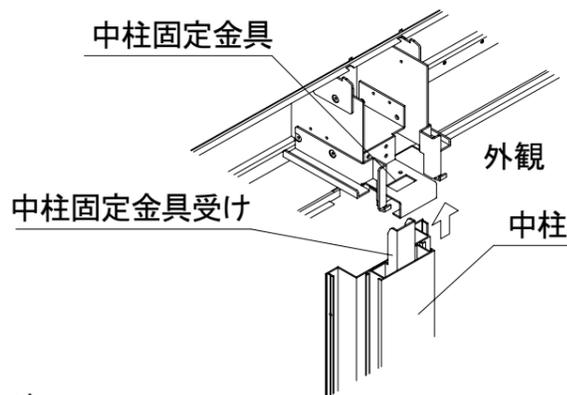


サッシ枠の水平、対角および枠の内法幅が正確に出ていない場合、シャッターの作動不良の原因となりますので特に注意してください。また、中柱部の下がりがあると、障子の建込みや中柱の取付けができなくなる場合がありますので注意してください。

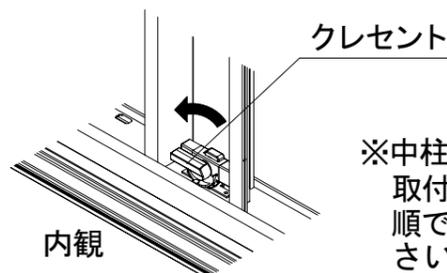


### 5 中柱の取付け

- 下図の様に中柱固定金具受けを、中柱固定金具の角孔に差し込んでください。

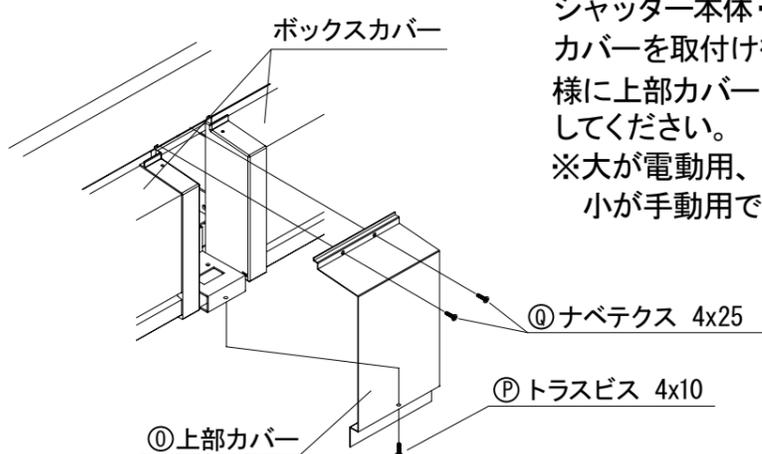


- 中柱の下部を下枠にのせ、クレセントで施錠してください。



※中柱の取外しは、取付けと逆の手順で行ってください。

### 4 中柱上部カバーの取付け



シャッター本体・ボックスカバーを取付け後、左図の様に上部カバーをビス止めしてください。  
※大が電動用、小が手動用です。